

2022年10月26日
合同会社ねっか
農林中央金庫福島支店

合同会社ねっかの新商品「柚子ねっかハイ」販売開始について

合同会社ねっか（以下「当社」）は、新商品となる「柚子ねっかハイ」の販売を開始いたしました。当社の新商品開発にあたって、農林中央金庫（以下「当金庫」）福島支店は、全国的なネットワークを活用したビジネスマッチング支援をいたしましたので、お知らせいたします。

当社は、福島県南会津郡只見町にて米焼酎等を製造する酒造会社です。当社の酒米は JGAP 認証を取得した当社保有の圃場で 100%栽培されています。当社は JGAP 認証圃場を持つ全国初の酒蔵となり、米農家だからできるお米の旨みとフルーティーな味わいを活かした酒作りに取り組んでおります。

2021 年度には、全国第 1 号となる「輸出用清酒製造免許（※1）」を取得いたしました（2021 年 5 月 28 日交付）。加えてリキュール（※2）製造免許も取得し、取り扱うお酒の種類を増やし続けております。当金庫福島支店は、当社が新たなお酒の製造に取り組むにあたって、柚子の調達を検討していたことから、当金庫が有する全国的なネットワークを活用。当金庫高松支店と連携したビジネスマッチングにより、高知県の柚子を取扱う企業と引き合わせることで当社の新商品開発を支援いたしました。

（※1）「輸出用清酒免許」とは、2021 年 4 月 1 日より国税庁が申請受付を開始し、輸出用の日本酒に限って製造・販売を許可する免許です。これまで日本酒の製造は、国内需給バランス等を配慮し、新たな製造免許の交付が制限されてきました。しかし、日本酒の輸出拡大に向けた取組みを後押しする観点から当該免許制度が設けられました。

（※2）「リキュール」とは、醸造酒や蒸留酒に果物や香草等を加え、風味や香り移し、砂糖やシロップ、着色料等を添加した混成酒のことです。

今般販売を開始した「柚子ねっかハイ」は、高知県産柚子の乾燥果皮を使用しております。果皮を使用しているため柚子の香りが非常に際立ち、柚子独特の苦みを活かした商品です。果汁を使用していないため、見た目はとてもクリアでほんのり黄色づいています。果皮を使用するのは、他に類を見ない取組みであり、果皮がアルコールを十分に吸収してしまうなど、開発段階では困難を極めました。何度も試行錯誤を重ねることで、果皮だからこそ為せる香り高く透き通った商品に仕上げました。

当金庫は農林水産業の成長産業化を推進するため、融資や出資といった資金提供だけでなく、本件のような取引先企業とのビジネスマッチングや、「輸出用日本酒」、「柚子ねっかハイ」等の輸出支援をはじめとした食農バリューチェーンの拡充に取組み、今後も農林水産業の持続的な発展および成長産業化に貢献してまいります。



写真 1：新商品「柚子ねっかハイ」



写真 2：「柚子ねっかハイ」のラベル

【本件に関するお問い合わせ先】

合同会社ねっか（脇坂代表社員） TEL：090-3469-7230

農林中央金庫福島支店（田村） TEL：050-3853-7400